



角膜移植をご希望される方は、アイバンクへお尋ねになって下さい

富山大学眼科では、献眼角膜のパーツ移植方法の一つである「角膜内皮移植（DSAEK）手術」によって、患者の視力改善に高い満足度を得ています。この機器は、2008年に334-D地区1R/2R（38LC）共同事業「LCIF一般援助交付金（399万円）及びLC400万円」による医療機器贈呈によるものです。新しい機器は、従来の角膜手術では「全層角膜移植」という方法で、糸で角膜を縫い合わせる手法で行われていましたが、この方法では、強い乱視が生じたり、視力の回復が満足できない場合があったようです。いま、富山大学眼科が行っている角膜内皮移植（DSAEK）の新しい手法は、「角膜の傷んだ部分のみを切除して、必要な組織のみを移植するという「パーツ移植」という方法で、角膜疾患によって視力を失った視力障害者に安心の手術が受けられることで、大学側の要請もあって1R/2Rの共同事業として実現したものであります。

富山大学眼科では、角膜のパーツ移植による高度な手術が行われていることについて県下病院眼科を通じて患者へのPRを行っているようですが、アイバンクの方でも必要な問合せにはお答えできる様にしています。

<9月の事業実績の概要>

・献眼登録者数 累計	7名 84名
・献眼者数 累計	2名 9名
・奉仕銀行助成金 累計	¥0 ¥1,250,000
・寄附金収入 累計	¥263,149 ¥1,413,149
・賛助会費収入 累計	¥0 ¥820,000
・募金収入 累計	¥4,308 ¥233,010
(助成金寄付金等収入)	¥3,716,159

◆2名の方からご献眼がありました

去る9月20日（富山市女性）、9月28日（高岡市女性）、お二人とも、ご生前から意思表示カードにより提供の意思を示しておられ、ご家族がその意思を尊重され提供となりました。

◆富山昭和 LC例会にて講話

去る9月13日、名鉄トヤマホテルにおいて事務局入江が、「アイバンクについて」の講話行いました。ライオンズの皆様に深いご理解を頂きました。

◆2R2Z より公式訪問記念のご寄附を頂きました

去る9月15日、小杉文化ホール ラポールにおいて、2R2Z地区ガバナー公式訪問が開催され、記念アクティビティとしてアイバンクへ多額のご寄附を頂きました。有難う御座いました。

◆法人会チャリティコンペ基金のご寄附を頂きました

去る9月21日、富山カントリークラブにおいて県法人会連合会チャリティゴルフコンペが開催され、アイバンクに対し橋本会長から基金の贈呈がありました。宮岸副理事長が感謝状を贈りました。

◆2R3Z より公式訪問記念のご寄附を頂きました

去る9月22日、砺波平安閣において2R3Zガバナー公式訪問が開催され、記念アクティビティとしてアイバンクへ寄附金を頂きました。本当に有難うございました。

◆LC奉仕銀行合同評議会に出席しました

去る9月24日、富山第一ホテルにおいてライオンズクラブ奉仕銀行評議員会が開催され高田理事長、事務局入江が出席しました。例年の通りアイバンクに対する交付が決定されました。

・助成金・寄附金・賛助会費・募金等に 関するご報告（9/1～9/30まで）敬称略

寄附金

- ・ライオンズクラブ2R2Z 100,000円
- ・ライオンズクラブ2R3Z 100,000円
- ・富山県法人連合会 50,000円
- ・ふうふう亭 13,149円

募金

- ・その他 4,308円

Toyama Eye Bank